

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	構造設計・解析の最適化理論応用小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (応用力学運営委員会)	
設置期間	2013 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・最適化理論を用いた構造設計・解析手法および実務設計への応用事例について調査し、構造最適化手法の実務設計への応用可能性・方向性を示す。</p> <p>・最新の最適化技術に関する情報交換と、実務設計への応用事例の資料収集。</p> <p>初年度：構造最適化に関する研究および応用可能性の調査。</p> <p>2 年度：最適化技術に関する研究動向調査とコロキウムの開催。</p> <p>3 年度：初年度・2 年度の成果に基づき、日本建築学会大会で PD を開催。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	<p>主査：高田豊文 (滋賀県立大学)</p> <p>幹事：澤田樹一郎 (鹿児島大学)</p> <p>委員：大崎純 (広島大学)，大森博司 (名古屋大学)，小野聡子 (有明工業高等専門学校)，加藤準治 (東北大学)，木村俊明 (佐々木睦朗構造計画研究所)，國光修五 (ユニオンシステム)，堤和敏 (芝浦工業大学)，平田裕一 (三井住友建設)，藤井大地 (近畿大学)，本間俊雄 (鹿児島大学)，松尾智恵 (川口衛構造設計事務所)，山川誠 (東京電機大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2015 年度予算	90,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有</p> <p>委員会 HP アドレス：http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s24/</p>

項目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	1. コロキウム「構造形態の解析と創生 2015」 ([構造委員会] 構造形態創生小委員会、[情報システム技術委員会] アルゴリズム・デザイン小委員会と共同開催) 『同名資料』(USB) 参加者数 87名
大会研究集会	1. PD：「最適設計」の過去・現在・未来 参加者数 114名 『構造部門(応用力学)パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 各委員の最新の研究成果を基に、意見交換を行った。 2. 小委員会で共通の最適化例題を設定し、各委員の解析結果について議論した。 3. 他小委員会と合同で「コロキウム構造形態の解析と創生 2015」を開催した。 4. 初年度・2 年度の成果に基づき、日本建築学会大会で PD を開催した。
委員会活動の問題点・課題	1. 遠方からの出席者に対して、交通費が十分に支払われなかった。